

道南太平洋海域スケトウダラニュース

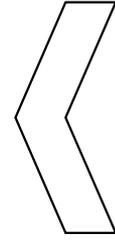
平成20年度 第4号

2009年1月29日

北海道立栽培水産試験場
調査研究部

Tel: 0143-22-2327

Fax: 0143-22-7605



道南太平洋スケトウダラ計量魚探調査結果

調査船北洋丸（稚内水試）により実施したスケトウダラ計量魚探調査の結果をお知らせします。

- ・ 調査期間：平成21年1月18日～22日
- ・ 調査海域：渡島・胆振・日高（一部海域）支庁管内の水深50～500m太平洋海域

- ・ 魚群は胆振・日高海域に多い
- ・ 水深50mの浅い海域まで分布が広がる
- ・ スケトウダラの反応量は前年同時期と同程度の高い値

- 1．スケトウダラと考えられる魚群は渡島から日高の調査海域の全域にわたって分布していますが、特に胆振、日高海域における反応が強い結果となりました（図1）。魚探反応の強い海区は、渡島では189、194海区、胆振では182、183、185、186海区、日高では168、170、176海区でした。一方、噴火湾内は渡島側の沿岸部に弱い反応が観察されました。
- 2．分布水深は、50m～500mと広く、特に100m以浅（ピークは70～80m）の浅い海域に濃密な魚群が分布していました（図2の矢印と図3）。調査は水深50mまでしか行っていませんが、室蘭沖ではさらに浅い海域まで魚群が続いているようです（図2のG線）。水深200m以浅の魚群は海底に接していましたが、それより沖合の反応は昼間でも海底から離れて中層に分布していました。
- 3．調査海域における反応量は前年同期と同程度の高い水準となっていますが、沖合の反応は昼間でも海底から離れて中層に分布しており、これらは漁獲対象になりにくいと考えられます。
- 4．今年度のスケトウダラニュースは本号で終了です。

ホームページアドレス

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/saibai/suketoudara.htm>

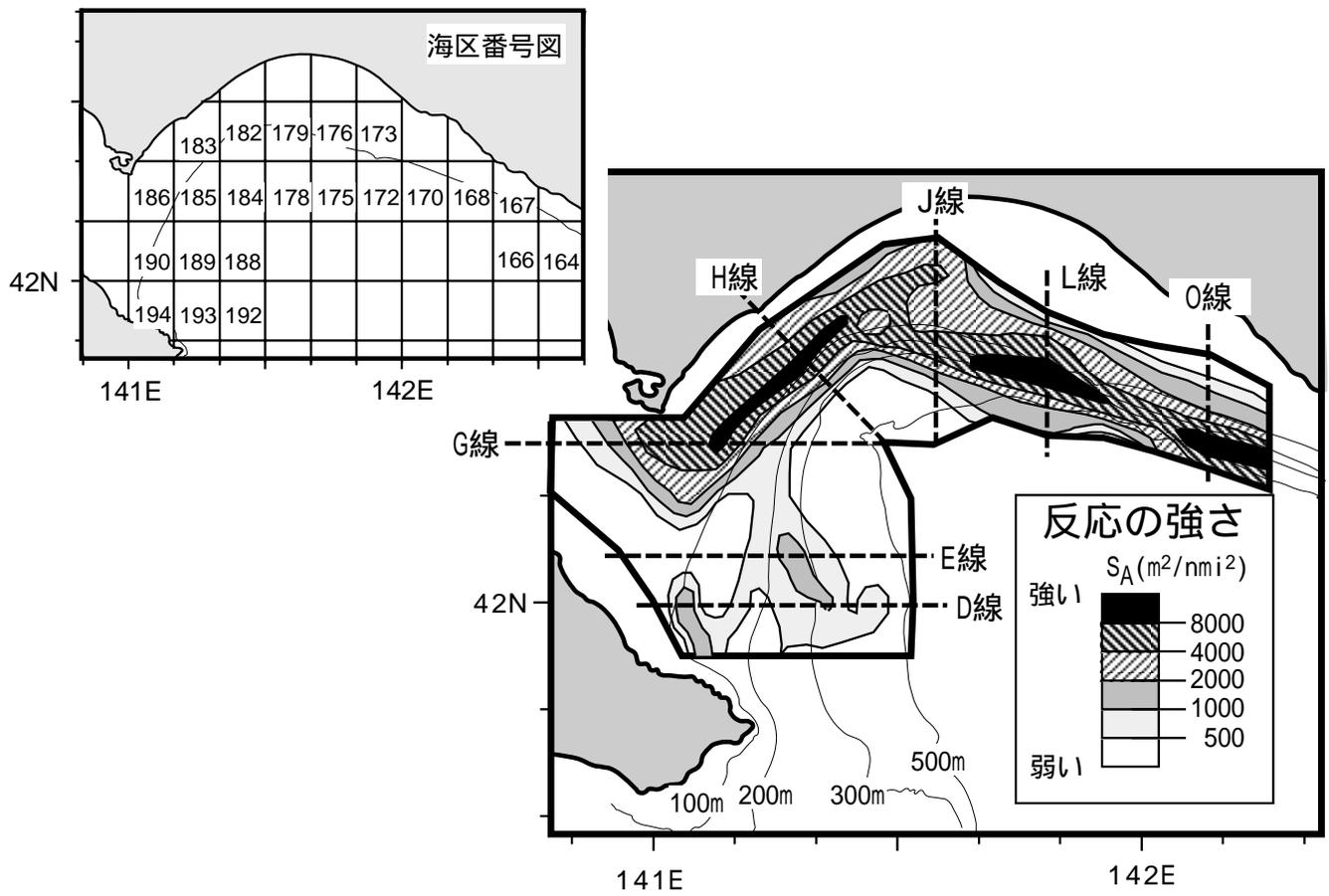


図1. 調査海域における魚群の分布
黒ワクの中が調査範囲

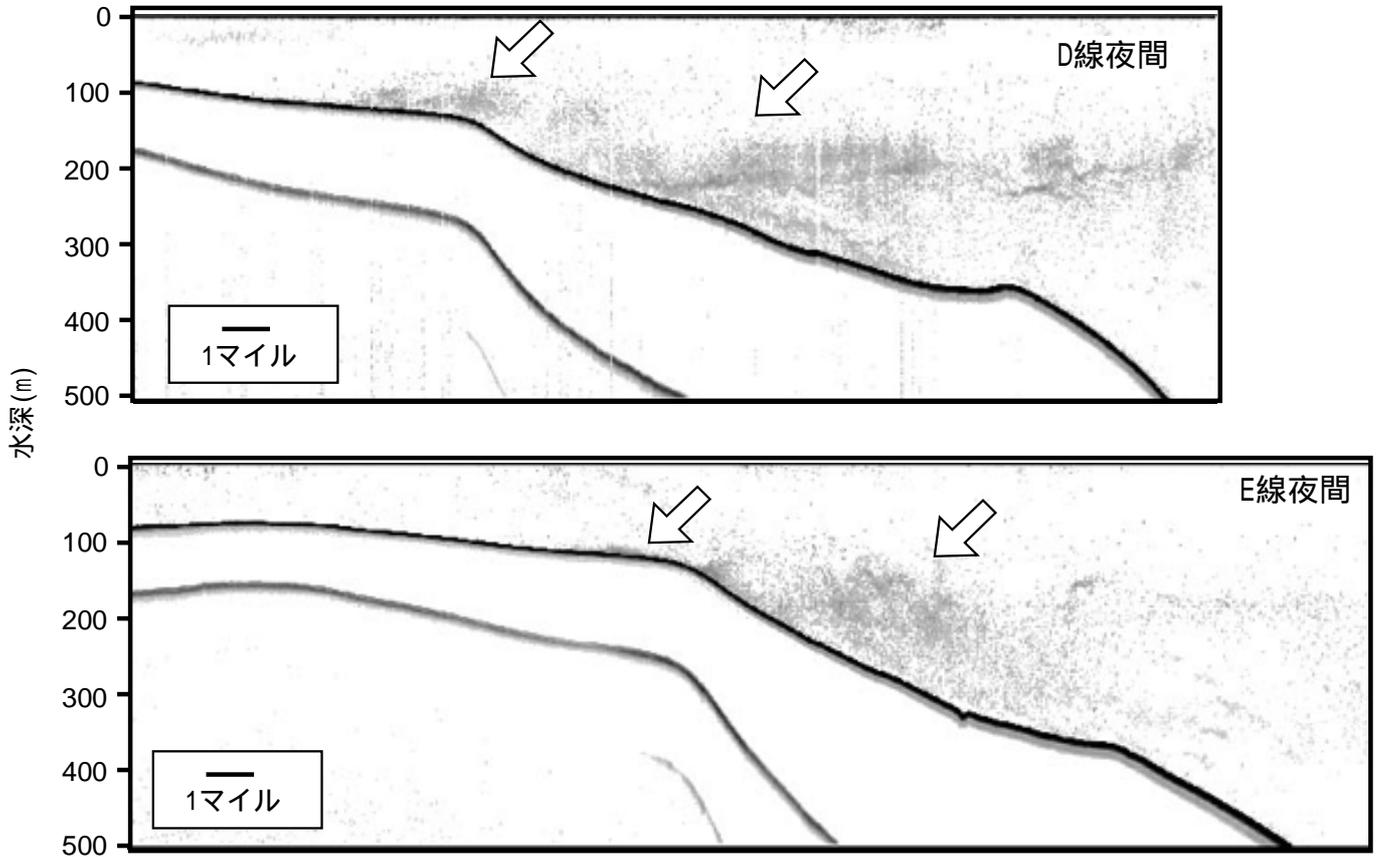


図2. 魚群の分布 (計量魚探画像)

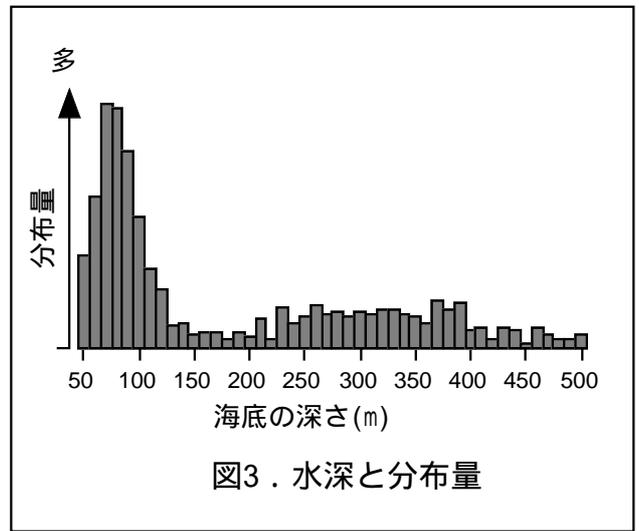
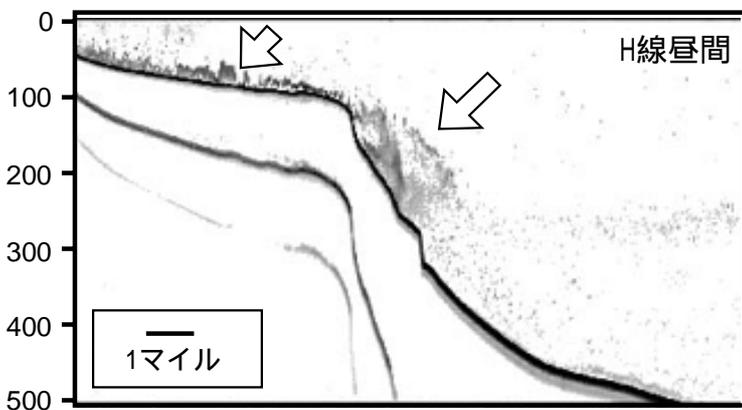
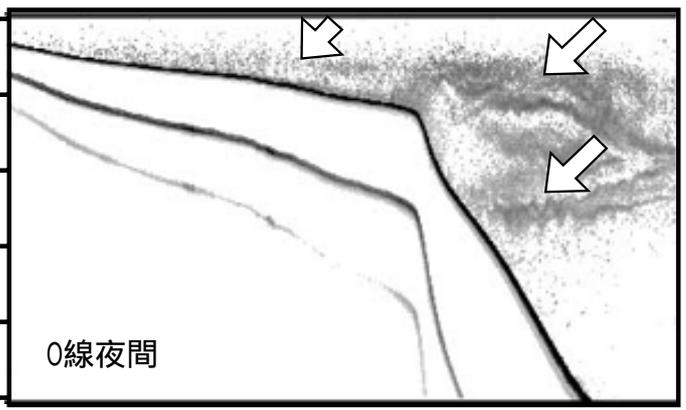
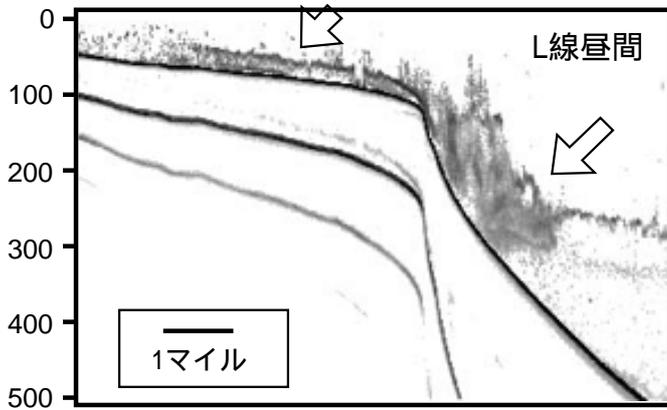
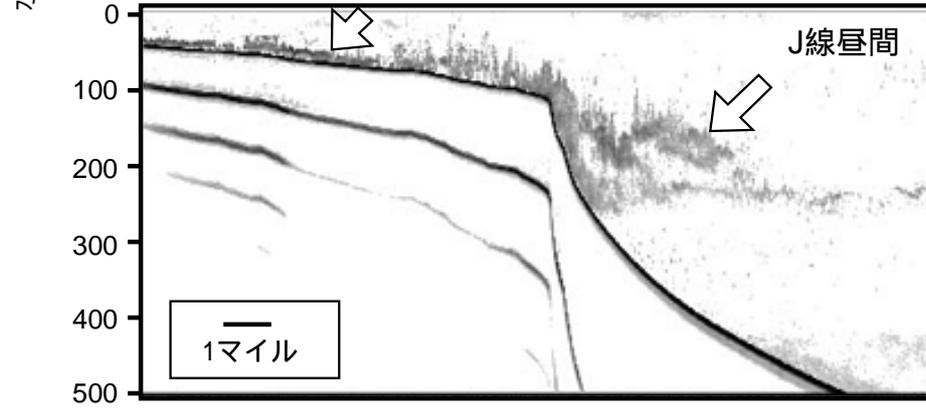
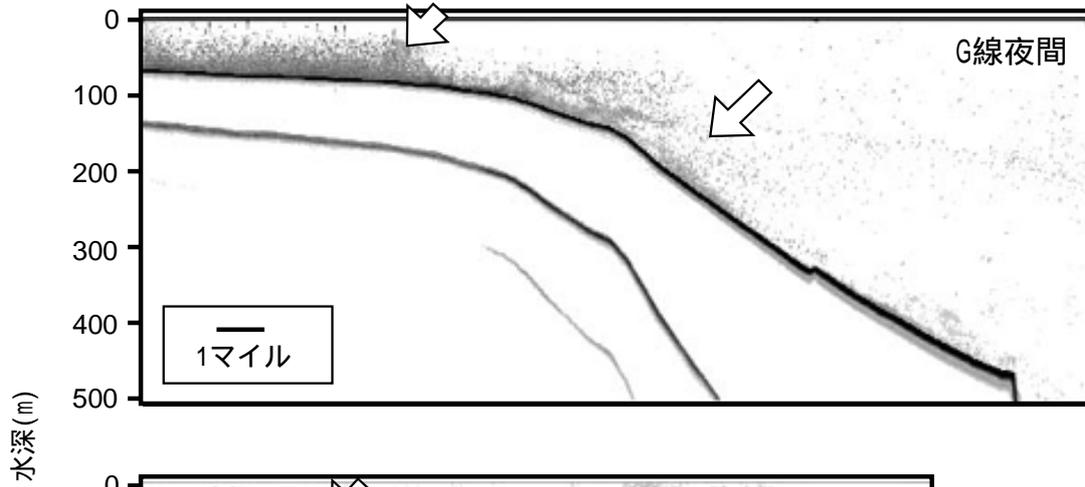


図2．魚群の分布つづき（計量魚探画像）

図3．水深と分布量